

## 平成 21 年度入学者選抜学力検査問題

# 国 語

### 注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時25分から10時15分までの50分間です。
- 3 大きな問題は全部で5問で、表紙を除いて7ページです。  
また、別に解答用紙が、(1)、(2)の2枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。  
また、特に指示のあるもののほかは、各問いのア、イ、ウ、エのうちから最も適当なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄の( )の中に書き入れなさい。
- 6 答えの字数が指示されている問いについては、句読点や「」などの符号も字数に数えるものとします。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号	番
---------	---

次の1から7までの問いに答えなさい。

1 次の1—線の部分の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 気が紛れる。 (2) 勉強に励む。
- (3) 懇親を深める。 (4) 工事の進行が滞る。
- (5) 哀愁が漂う。

2 次の1—線の部分を漢字で書きなさい。

- (1) 飲み物をヒやす。 (2) テレビがコシヨウした。
- (3) ひまわりのメが出る。 (4) ヒタイに手を当てる。
- (5) 結婚式にシヨウタイされる。

3 「昨日はおなか痛かった。」の1—線の部分と、同じ品詞のものとはどれか。

- ア 痛みを分かちあつてこそ、真の友達と言える。
- イ もう熱も下がったし、頭もそれほど痛まない。
- ウ 幼い男の子が頭を柱にぶつけ、泣いて痛がる。
- エ 歯が痛ければ、早く歯医者に行った方がいい。

4 次の1—線の部分について、誰に対する敬意を表しているかを適切に説明したものはどれか。なお、「A」「D」は人物を表している。

- ① 「A」が「B」の蔵書を「覧」になった。
- ② 「C」が「D」の蔵書を押見した。
- ア ①は「A」に、②は「C」に対する敬意を表している。
- イ ①は「A」に、②は「D」に対する敬意を表している。
- ウ ①は「B」に、②は「C」に対する敬意を表している。
- エ ①は「B」に、②は「D」に対する敬意を表している。

5 次の友子さんと明夫さんの会話の内容を、誤解のないように表現した文はどれか。

友子さん	「新しくできた本屋さんはどこにあるの？」
明夫さん	「町で一番高いビルの中だよ。」
友子さん	「そのビルの特徴をもう少し教えて。」
明夫さん	「白いビルだよ。それとね、屋上に大きなアンテナがあるよ。」

- ア 新しくできた本屋は、白くて、町で一番高い大きなアンテナのあるビルの中にある。
- イ 新しくできた本屋は、町で一番高くて、白い大きなアンテナのあるビルの中にある。
- ウ 新しくできた本屋は、大きなアンテナのある、白くて町で一番高いビルの中にある。
- エ 新しくできた本屋は、町で一番高くて大きなアンテナのある、白いビルの中にある。

6 次の「」の中の漢字は行書で書かれている。これらを楷書で書いた場合、総画数が、「祝」の総画数と同じになるものはどれか。

「ア 魚 イ 秒 ウ 泳 エ 被」

7 次の二つの□に共通して当てはまる漢字一字を、書き下し文を参考にして書きなさい。

春眠□□レ覚□□レ暁 (春眠 暁を覚えず)

学而□□レ思則罔 (学びて思はざれば則ち罔)

## 2

次の文章は、聖人(すぐれた僧)と盗人についての話である。これを読んで、1から5までの問いに答えなさい。

この聖人、<sup>(注1)</sup>そのかみ<sup>(注2)</sup>水飲と言ふ所に住み侍りけるころ、木拾ひに谷へ下りける間に、盗人入りにけり。僅かなる物ども皆取つて遠く逃げぬ、<sup>ア</sup>と思うてかへり見れば、もとの処なり。<sup>(1)</sup>いとあやし。と思ひて、「猶行くぞ。」と思ふ程に、<sup>(注3)</sup>二時ばかり、<sup>(注4)</sup>彼の水飲の湯屋をめぐりて、更にほかへ去らず。

その時に、聖<sup>じやう</sup>歸り来て、あやしみて問ふ。答へて言ふやう、「我は盗人なり。しかるに、遠く逃げ去りぬと思へども、すべて行く事をえず。是ただ事に非ず。今に至りては、物を返し侍らん。願はくは許し給へ。まかり歸りなむ。」と言ふ。聖のいはく、「<sup>(注5)</sup>なじかは、罪深くかかる物をば取らむとする。ただ欲しう思うてこそは取りつらん。<sup>(2)</sup>更に返しうべからず。それなしとも、我、事かくまじ。」と言ひて、盗人に猶取らせてやりける。<sup>(注6)</sup>おほかた、心にあはれみ深くぞありける。

(「発心集」から)

- (注1) そのかみ || その昔  
(注2) 水飲 || 京都の地名  
(注3) 二時ばかり || 約四時間  
(注4) 湯屋 || 風呂場  
(注5) なじかは || どうして  
(注6) おほかた || 実に

1 言ふやうは現代ではどう読むか。現代かなづかいを用いて、すべてひらがなで書きなさい。

2 <sup>ア</sup>かへり見れば <sup>イ</sup>問ふ <sup>ウ</sup>思へども <sup>エ</sup>思うて の中で主語にあたる人物が異なるものはどれか。

3 <sup>(1)</sup>いとあやし とあるが、盗人が不思議だと思ったのは、どのようなことか。二十五字以内の現代語で書きなさい。

4 <sup>(2)</sup>更に返しうべからず。それなしとも、我、事かくまじ とは、どういう意味か。

ア まったく返す必要はない。返してもらわなくても、わたしは不自由することはないだろう。

イ まったく返さないのはよくない。少しでも返してもらえないなら、わたしは満足するだろう。

ウ まったく返してほしくない。返してもらったとしても、わたしは不愉快に思うだけだろう。

エ まったく返さないつもりなのか。返してもらえないと、わたしは困ったことになるだろう。

5 本文の内容と合うものはどれか。

ア わずかな持ち物を与えようと意地を張る聖人を、盗人は気の毒だと思っている。

イ 悪事を働いた事情を聞いてくれない聖人に対し、盗人は強い反感を抱いている。

ウ 聖人のものを盗んだ盗人に対し、聖人は寛大で情け深い心をもつて接している。

エ 盗人が二度と罪を犯さないように、聖人は心を鬼にして厳しい罰を与えている。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。①～⑤は形式段落の番号である。

① かつて環境問題は、どちらかといえば自然科学系分野の問題でした。公害や生態系の破壊といった問題に対処するにはどうすればいいのか。大気汚染を減少させるには、どうすればいいのか。こういった問題には科学的な対応が不可欠でした。A、よく考えてみると、環境問題に対処する策を判断する際に重要なのは、私たちにとって自然はどうあるべきなのかという思想的判断であり、またそのような判断を下すには、人類はいつた過去どんなふう<sup>(注)</sup>に自然と付き合ってきたのかという歴史的な知識です。一般に環境思想とか環境哲学、環境倫理学、および環境歴史学といった人文社会系の学問分野が、最近盛んになっている背景にはこういう理由があります。

② 一九九〇年代以降、「地球環境問題」という言い方が強調されるようになりました。それは、もはや環境問題が局所的な問題ではなく、グローバルな問題であると認識されるに至った証拠です。

B、エコロジー生態学という学問は、そもそも「関係の学」とでもいうべきもので、ある部分だけに局所的な治療を施せばいいという発想を根本的に疑う考え方だからです。エコシステム生態系というのは、地球上のあらゆるものが相互的に依存し合っている複雑な関係の網の目であるため、逆にいえば、ことになるわけです。環境問題をグローバルな視点で見なくてはならないのは、関係とつながりの世界全体の破壊が進行しているからです。

③ その結果、私たち人間はそもそも自然環境という領域をどう考え、どう扱ってきたのか、また、いま、そして将来にわたって、どういう考え方をもって自然に臨めばいいのか、を考えざるをえなくなりました。その意味では、もはや地球環境問題に取り組む方法は多面的にならざるをえません。何よりも私たち自身がどういう自然の見方を持っているのか、それを可能なかぎり明確に知っておく必要があります。人間にとって自然環境とは何か。これを自然科学のみならず、社会科学、人文科学を総動員して検討していくという課題に取り組む必要があります。文学もまたそのような課題に取り組むひとつの研究分野となっています。

④ もう一〇年ほど前になりますが、ある大学で環境問題を多面的に検討するための総合講義が設けられ、文学と環境問題という視点で講義するよう依頼がありました。講義が終わったあと、受講者からの感想や質問などを書いてもらったのですが、その中に、文学は環境問題には何の役にも立たないという痛烈な批判的コメントがありました。理工系の学生のコメントでした。文学が環境問題について何かを語ることがきわめて珍しかった時期でしたので、こういうコメントがあっても別段驚きはしませんでした。ただ、少し残念でした。

⑤ 人間の感受性や美意識の表現である文学や芸術は、一般的に環境問題、とくにその解決に直接貢献することはないかも知れませんが、しかし、感受性や美意識こそが「自然観」の根底にあるもので、その部分を問わずに私たちの「自然観」を変えていけるでしょうか。

② 私たちが自然について何をどう感じているか、それを見極めないで、自然に対する私たちの態度を決定できるのでしようか。

(野田研一「自然を感じるころころ——ネイチャーライティング入門」から)

(注) 人文社会系の学問分野Ⅱ 人文科学・社会科学のこと。例えば、文学・哲学・思想・倫理学・歴史学・法学・政治学・経済学などを指す。

1  A、 B に当てはまる語の組み合わせとして適切なものはどれか。

- ア A また B したがって
- イ A さて B そして
- ウ A しかし B なぜなら
- エ A つまり B むしろ

2  に当てはまる語句はどれか。

- ア 全体的な治療を行うと自然が壊れていく
- イ 生物が依存し合うと網の目が形成される
- ウ 網の目が破れると自然は自力で回復する
- エ ある部分が壊れると全体が影響を受ける

3 ① 地球環境問題に取り組む方法は多面的にならざるをえません

とあるが、地球環境問題に多面的に取り組むとは具体的にどのようなことか。四十字以内で書きなさい。

② 4 私たちが自然について何をどう感じているか、とあるが、自然に対する私たち人間の感じ方を知るために、文学や芸術はどういう点で役に立つのか。本文中の言葉を用いて三十五字以内で書きなさい。

5 段落の関係を説明したものとして最も適切なものはどれか。

- ア ②段落は、①段落で挙げた歴史や文化の価値を否定し、伝統的な自然観を評価する手段を探っている。
- イ ③段落は、②段落で考察した認識の変化を踏まえ、問題を解決するための対策の方向性を示している。
- ウ ④段落は、③段落で分析した現代社会の特徴を掘り下げ、自己の体験を通して課題を明確にしている。
- エ ⑤段落は、④段落で述べた過去の話題を根拠とし、周囲から支持を得た自説の正当性を強調している。

6 本文の内容に合うものはどれか。

- ア 地球的規模の環境問題を解決するためには、特定の学問分野からの局所的な取り組みだけでは限界がある。
- イ 環境問題は地球的規模の問題であり、その解決のために各国の文化の違いを科学的に研究する必要がある。
- ウ 環境問題を解決するために力を尽くすことが、文学の問題を地球的規模の視点から考える機会となりうる。
- エ 地球的規模の環境問題は社会構造の問題でもあり、その解決のためには経済的発展を最優先すべきである。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。

「俺」こと戸村コウスケは、高校三年生。野球部を引退したコウスケは、合唱祭でのクラスの指揮者を自ら引き受けた。伴奏者の北島君にアドバイスをもらいながら練習を繰り返す、いよいよ本番を迎えた。

始まるのだ。もう行くしかない。落ち着け戸村心臓。俺は小さな深呼吸をしてから、手を挙げた。

みんなが合唱の姿勢を作る。手を振り下ろすと、北島君のピアノが鳴る。みんなの息を吸う音までもが俺の耳に入る。スタートが切られた。

「母なる大地のふところに われら人の子の喜びはある 大地を愛せよ 大地に生きる」

最初はゆったりと静かに。そして、静かなながらも雄大に。指先が震えているのがわかる。気持ちにはやるけど、走ったらあかん。ここは丁寧に丁寧に歌詞を拾っていく。

「人の子ら 人の子 その立つ土に感謝せよ」

バス、テナー、アルト、ソプラノ。各パートでつないでいく。俺はそのたびにそちらのほうへ身体を向けた。

声が返ってくる。みんな真剣に俺を見ている。次第に声が一つになって広がっていく。

そして、間奏。北島君のピアノソロは完璧だ。北島君は俺の指先をじっと見据えながら、鍵盤を叩いていく。ピアノにどんだん命を吹き込むように叩いていく。

俺の指先からこぼれるように、ピアノの音が響く。やっぱり北島君、めっちゃピアノうまいやん。僕のピアノはここまでやって言っただけ、前よりまたすくなくなってる。俺は北島君の弾くピアノがほんまに好きやと、また思った。

間奏を弾き終えた北島君が俺に合図を送った。「さあ、行け

よ。」ってこと。ここから少しづつ盛り上がっていくのだ。

「平和な大地を 静かな大地を 大地をほめよ たたえよ土を」  
穏やかな静寂。ラストスパートが始まる。女子パートと男子パートの声が重なっていく。それをまとめていかなくちやいけない。みんなの声がどんだん大きくなる。でもまだ急ぐな。まだ走るな。一番最後に向けて今は力を溜める。はやる俺の指揮を北島君のピアノが抑える。

「ほめよ たたえよ 土を 母なる大地を たたえよ大地を」  
クライマックスに向けて音が高くなり、雄大な声が響く。身体には音楽がこぼれんばかりに満ちていた。ラストを迎え、指先に溜めた力が一気に解き放たれる。身体はもう勝手に動いていた。完全に北島君のピアノに、みんなの声に乗っていた。指揮台から落ちそうになりながら、最後の声を捕らえ、俺の手は合唱を閉じた。

とんでもない疲労感だった。指揮台から降り、観客席に頭を下げたときには、野球でいうなら炎天の下、二ゲーム終えたくらいだ。

完璧な合唱だった。成功だ。鳥肌がしばらく収まらなかった。歌い終えたみんなの顔も上気していた。

しかし残念だけど、最優秀賞は逃した。俺らが打ち込んできたように、どのクラスだって必死だったのだ。最優秀賞は三組だった。ややこしい英語の歌をアカペラで歌いやがった。俺ら二組は二位。みんな満足そうにしていたし、女子は半分ほど泣いていた。良い合唱祭だった。

閉会式を終え教室に戻ろうとしたとき、北島君が俺の前までやってきてすつと手を差し出した。

「何？ まさか握手？ なんか、照れるやん。」

「楽しかったわ。」

俺は漫画みたいに頭をかいたけど、北島君はさつと俺の手を握った。こういうことを躊躇なくできるところが、北島君と呼ばれる所以かもしれない。

(3) 細いけどしっかりとした指。あの音を奏でた指だ。そう思うと、俺も思わずしっかりと手を握り締めてしまった。

「ありがとう。俺、北島君に教えてもらったからなんとか指揮できたんやわ。」

「僕も戸村が指揮者でさ、おもしろかった。」

「また、なんかこんな風なことやろうや。」

「ほんまに。」

北島君は微笑んだ。

(瀬尾まいこ「戸村飯店 青春100連発」から)

1  に当てはまる語句として最も適切なものはどれか。

- ア 焦ったように  
イ 思い出したように  
ウ 応えるように  
エ 突き放すように

2 (1) 俺の指先からこぼれるように、ピアノの音が響く とあるが、

コウスケがこのように感じているのはなぜか。

ア 北島君の伴奏をコウスケの指揮が追う状態になっているから。

イ 北島君の伴奏の激しさがコウスケの指揮を圧倒しているから。

ウ 北島君の伴奏の良さをコウスケの指揮が引き出しているから。

エ 北島君の伴奏がコウスケの指揮とぴったりと合っているから。

3 無心になって指揮をしているコウスケの状態を表現している一文を、本文中から十五字以内で抜き出せ。

4 (2) みんなの顔も上気していた とはどのような様子か。

ア 高ぶった気持ちが続いている様子

イ 解放感に浸りくつろいでいる様子

ウ 意外な結果に呆然としている様子

エ 他のクラスが気になっている様子

5 (3) 俺も思わずしっかりと手を握り締めてしまった とあるが、それはなぜか。四十字以内で書きなさい。

6 本文の表現上の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれか。

ア 合唱歌の歌詞の挿入によって、コウスケの視点で書いた重厚な文体に爽快感を添えている。

イ 感情を抑えた表現によって、合唱コンクールという非日常的な場面に臨場感を加えている。

ウ 短文を連ねることによって、コウスケの心の動きや場面の緊張感をありありと描いている。

エ 比喩表現を多く用いることによって、コウスケと北島君とを対比させ存在感を与えている。

「地域社会とわたしたち」というテーマで、次の三人の会話を参考に  
にして、あなたの考えを書きなさい。

なお、自分の考えとその理由を明確にすること。また、国語解答  
用紙②に、二百四十字以上三百字以内で書くこと。

Aさん わたしたち中学生にも、地域社会のためにできるこ  
とはいろいろあると思う。だから、地域の人々のため  
に、今、わたしたちにできることをすべきじゃないか  
な。

Bさん 地域の人々のために何かをすることは大切なことだ  
と思うけれど、わたしたち中学生にできることは、ま  
だないと思う。大人になってからしっかりと地域社会  
の役に立てるように、わたしたちは、今やるべきこと  
をきちんとやるべきだよ。

Cさん Aさんの言うことにも、Bさんの言うことにも、う  
なずける部分があるけれど、まずは、地域社会の役に  
立つとはどういうことかを、よく考えてみる必要があ  
ると思う。